

令和元年度(2019年度)

管理事業名	北大阪健康医療都市推進事業				総合計画の体系	大綱 3 福祉・健康 政策 4 健康・医療のまちづくり 施策 2 健都を生かした健康づくりと医療イノベーションの促進
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 15 北大阪健康医療都市整備費
部局名	健康医療部	予算執行所属	北大阪健康医療都市推進室 (健康まちづくり室)			
予算大事業名	北大阪健康医療都市推進事業					
	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)土木費(項)都市計画費(目)北大阪健康医療都市推進費 北大阪健康医療都市推進事業 (款)衛生費(項)保健衛生費(目)保健衛生総務費 北大阪健康医療都市推進事業					
事業の目的と概要	北大阪健康医療都市(健都)を新たな都市拠点とするため、道路や公園等を整備するとともに、健康・医療のまちづくり基本方針等に沿った医療クラスターの形成を目指します。また、健都の各事業主体や企業、地域住民等が連携しながら、健都ならではの先駆的な健康づくり、生きがいづくり等の取組が展開される環境づくりを進めます。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
都市基盤施設整備率	%	95	100	100	北大阪健康医療都市における道路、公園などの都市基盤施設の整備率
健都イノベーションパーク進出率	%	47	47	60	健都イノベーションパークの面積における企業等の面積占有率
成果の説明	道路、公園などの都市基盤施設の整備を平成19年度(2007年度)から進めており、平成30年度(2018年度)に岸辺駅北公共通路等が供用開始され、基盤施設の整備が完了しました。 また、令和元年度(2019年度)国立健康・栄養研究所等が入居予定のアライアンス棟の整備・運営事業を行う優先交渉権者が選定されました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	45,841	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	15,098	89,195	1,776	△87,419
経常収入 小計(a)	60,938	89,195	1,776	△87,419
給与関係費	109,543	97,523	81,830	△15,693
物件費	36,010	13,973	15,819	1,846
維持補修費	30,846	1,672	3,228	1,556
社会保障扶助費	-	-	-	-
経常費用				
負担金・補助金・交付金等	179	217,340	58	△217,282
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	563	1,038	-	△1,038
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	8,772	8,490	7,312	△1,178
退職手当引当金繰入額	△10,360	△1,607	△8,918	△7,311
支払利息	2,340	2,231	2,939	708
その他	-	229,660	-	△229,660
経常費用 小計(b)	177,892	570,319	102,268	△468,051
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△116,954	△481,124	△100,492	380,633
特別収入				
固定資産売却益	-	1,004,353	-	△1,004,353
その他	784,100	111,829	-	△111,829
特別収入 小計(d)	784,100	1,116,182	-	△1,116,182
特別費用				
固定資産除売却損	-	143,946	-	△143,946
その他	-	2,461	-	△2,461
特別支出 小計(e)	-	146,407	-	△146,407
特別収支差額(d)-(e)=(f)	784,100	969,775	-	△969,775
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	667,146	488,651	△100,492	△589,142
一般財源充当額	93,850	△949,330	345,363	1,294,693
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	760,996	△460,679	244,872	705,551

勘定科目	決算額の主な内容
負担金・補助金・交付金等	平成30年度には、おおさか・すいたハウス移転支援寄附の支払いがありました。令和元年度には支払いがなかったため、減額となりました。
固定資産売却益・固定資産除売却損	平成30年度には、健都イノベーションパークの一部園地の売却に伴い売却益・売却損が計上されました。令和元年度には園地の売却がなかったため、減額となりました。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	55,112	89,195	1,776	△87,419
行政サービス活動支出	198,543	352,834	118,799	△234,035
行政サービス活動収支差額	△143,432	△263,639	△117,023	146,617
投資活動収入	784,100	2,136,515	-	△2,136,515
投資活動支出	615,729	916,864	-	△916,864
投資活動収支差額	168,371	1,219,651	-	△1,219,651
財務活動収入	151,300	203,500	-	△203,500
財務活動支出	270,089	210,182	228,340	18,158
財務活動収支差額	△118,789	△6,682	△228,340	△221,658
収支差額 合計	△93,850	949,330	△345,363	△1,294,693
一般財源充当額	93,850	△949,330	345,363	1,294,693
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	平成30年度にはあった、健都イノベーションパークの一部園地の売却及び工事費用の支出が、令和元年度にはなかったため、収入、支出とも減額となりました。
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成29年度	370,072 人	481 円	市民1人あたり273円のコストがかかっています。 ※令和2年3月31日現在の吹田市の人口で算出しています。
	平成30年度	371,030 人	1,537 円	
	令和元年度	373,978 人	273 円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	237,343	247,009	9,666
未収金	-	-	-	地方債	41,557	53,098	11,541
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	8,490	7,312	△1,178
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	513	-	△513
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	186,783	186,598	△185
有形固定資産	1,418,288	1,417,263	△1,025	固定負債	1,821,393	1,565,831	△255,563
土地	1,417,263	1,417,263	-	地方債	619,601	566,502	△53,098
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	1,025	-	△1,025	退職手当引当金	84,475	69,121	△15,354
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	513	-	△513
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	1,116,805	930,207	△186,598
固定資産	-	-	-	負債の部合計	2,058,736	1,812,839	△245,897
有形固定資産	-	-	-	純資産	△611,071	△366,200	244,872
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	29,376	29,376	-	純資産の部合計	△611,071	△366,200	244,872
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	1,447,665	1,446,640	△1,025
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	1,447,665	1,446,640	△1,025				

Ⅲ 財務構造分析

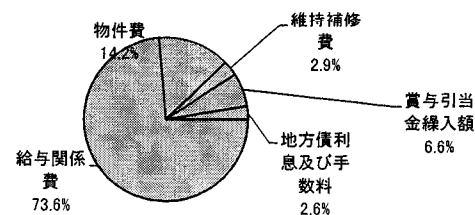
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇員 年間従事日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
	月平均	人				
	11.1	人				80,224
給与関係費等	80,148	千円			76	千円
内、時間外勤務手当	2,076	千円				

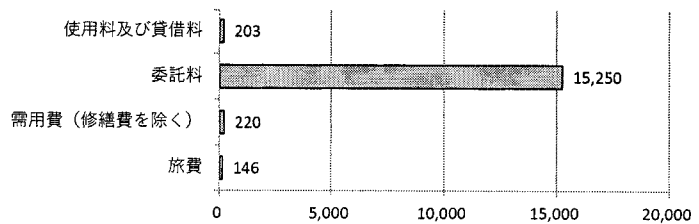
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
その他固定負債	正雀下水処理場跡地購入に係る長期未払金のうち、令和2年度支払い分を流動負債に振替えたことにより、減額となりました。

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)		
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B
受益者負担比率		-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-
一般財源充当比率		8.7	△ 64.1	99.5

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

平成30年度に健都でのハード整備が完了し、令和元年度の行政コスト計算書においては、収入・費用ともに減額となりました。費用のうち人件費が約8割を占め、ソフト中心の事業へと変化したことが分かります。  
貸借対照表においては、資産の売却等を行わなかったことから、資産の部には大きな変化はありませんでしたが、正雀下水処理場跡地購入に係る未払金の支払い、地方債の償還等を行った結果、負債の部は減額となりました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

財務諸表の分析結果からは直接的には課題は見えないものの、事業全体として次のような課題が挙げられます。  
健都イノベーションパークの残圃地についての、引き続き誘致に向けた検討を進めること  
エリアマネジメントにつながる継続的な取組や組織化の検討、また、健康寿命の延伸に向けた健都ならではの健康づくりの取組についても引き続き検討すること